

やまぎと

会報16号(2002年度冬号)

*行事お知らせ 窓窓窓 2003年KUWV OBスキー合宿
2月22日~23日 野沢温泉スキー場

*45周年記念総会・懇親会ご案内

2003年9月13日~14日

白峰村白峰 白山まるごと体験村



金沢大学ワンダーフォーゲル部OB会

* 表紙	21期	竹中 敏	
* 45周年を迎えるにあたって	会長 15期	奥名 正啓	1
* OB会会計報告	会計 23期	鳥越 伸博	2
* 行事お知らせ 2003年OBスキー合宿	11期	青柳 健二	3
* 45周年記念総会・懇親会 ご案内			4
* 現役自己紹介			8
* プロジェクトクラコシ (2002年度小屋作業&小屋酒場)	45期	深作 亮太	11
	45期竹内雅幸	43期矢田部桂	19期梅典雅 13
	15期	舟田 節子	14
* 2002年OBスキー合宿 野沢温泉		メールから	18
* 同期会報告	3期鈴木兵一	15期舟田節子	23期鳥越伸博 20
* 息子の追悼山行とワンゲルの人達との10年の歩み	36期	蒲原 道子	24
* OB便り (メール抜粋)			26
(はがき他)			29
* 金沢アンダンテ	(朝日新聞より転載) 19期	梅 典雅	31
* 発送者名簿訂正分			36
* OB会10年の総括	事務局長 15期	舟田 節子	37
* 主将になって	現役主将 45期	松山 文枝	40
* 顧問の独り言	顧問	前田 達男	41
* 現役活動記録			42
* 2002年度現役名簿			44

今月の会報



『秀峰』創立60周年記念号 秀峰山岳会 (新潟県)

創立60周年記念事業として行なったのが、新潟県内と県境の一等三角点31カ所の踏査であった。これは、昭和30年代に行なった、地元下田山系のすべての沢を踏査した流れをくむもの。「秀峰聞き書きの記」の章は、昔の登山や山を舞台にした郷土史などが記されていて、興味深い。

(2001年12月発行)

●問合せ先☎955-0861三条市北新保2-5 3階 高橋方



『やまざと』15号

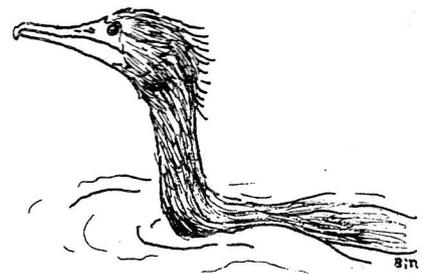
金沢大学ワンダーフォーゲル部OB会 (石川県)

年2度の発行を7年来続けてきた。現役当時は、同じモチベーションをもち、似たような生活環境のなかでともに山を登るであろうが、卒業後、それぞれの人生を歩みながらも接点をもち、会としてまとまって、会報を出し続けるパワーが偉大だ。山行記録や近況報告のほか、登山家や写真家などにインタビューした「山の語り部に聞く」も読み応えがある本格的会報。(2002年2月発行)

●問合せ先☎920-0911金沢市橋場町10-49 舟田節子方

山と溪谷2002年4月号の
今月の会報コーナーで、
「やまざと」15号は、紹介され
ました。

(送付したら、98冊のうちの
目をひく方だったということ)



かわウ

OB会会計報告

(平成14年1月21日～平成14年12月31日)

【収入の部】

OB会費納入	40,000
預金利息	58
計	40,058

【支出の部】

OB会報(やまざと)No.15印刷費	286,900
郵送費	118,000
取材費	24,620
現役小屋作業補助	50,000
OB・現役3年懇親会	53,287
通信費	15,450
事務備品費	33,285
野沢スキー雑費	4,745
その他	3,407
計	589,694

【差引剰余金】

前回(14.1.20)繰越金	1,224,109
収入の部	40,058
支出の部	589,694
差引合計	674,473

○今回OB会費を納入いただいた方(敬称略)

佐藤 秀紀 山中 重夫 津田 伸生 柴田 茂樹・訓子
高田 泰夫 宮西 康之 中道 正樹 田村 賢司
林 司

どうもありがとうございました。



2003スキー合宿 in 野沢

さて、恒例の「KUWV・OB会スキー合宿」を下記のとおり、またまた野沢温泉にて行いますのでご案内いたします。

1. プロジェクト名 2003スキー合宿 in 野沢
2. 実施日 2003年2月22日(土)～23日(日)
(通常、先発&後発隊により21-24日に延長されます。)
3. 場 所 野沢温泉スキー場&共同温泉浴場13湯
メインゲレンデ：やまびこゲレンデ(スキー専用)
スカイラインコース(全長 5km)
4. 宿 泊 リゾートハウスふるさと 長野県下高井郡野沢温泉村6556
電話 0269-85-2241 <http://www.nozawa.com/furusato/>
5. プロジェクト運営 KUWV11期 有志
幹事長 森川功、同代理 青柳健二その他 技術指導、スピード指導、
映像記録、遊戯指導、温泉悦楽誘導等
11期メンバーが担当させていただきます。
6. 申込み 2003年2月8日(土)までに
Eメールにて、上記 幹事長/同代理へ申し込み下さい
KENAOYAGI@aol.com (青柳)
isaom@bl.mmtr.or.jp (森川)

*和室2部屋を確保していますが、家族参加の場合は、
別室を確保しますので、その旨申し込み下さい。

7. 参加の意義
 - ・白銀の大斜面に体を投げ出すことにより、すべてを忘れ、「至福の時」を味わうことが出来る。
 - ・スキーという「至福の時」を知っている仲間と出会うことで、人生の楽しさを実感することが出来る。
 - ・「至福の時」へと導いてくれたKUWVに感謝し、KUWVが生まれて45年となる時の流れを、田村教祖達と回顧できる。
 - ・スキーをしなくても、太古から湧き出す野沢の天然温泉13湯に入ることで、「悦楽の時」を味わうことが出来る。そして
 - ・田中長野県知事が主導する信州スキー王国再興プロジェクトに乗っかることで、信州と日本の景気回復に貢献出来る。

でも、意義なんて、どうでもいいから

- ・楽しくスキーをして、KUWVを共有する仲間と愉快地語り、
美味しい料理を食べ、お酒を飲んで、温泉にも入りたい、
そう思っている人——こぞって参加しよう！！

*なお、野沢温泉スキー場、リゾートハウスふるさとの情報は、各ホームページを参照して下さい。(本日の積雪情報から宿の場所まで確認できます。)

<http://shinshu.online.co.jp/nozawa/>

<http://www.nozawa.com/furusato/>

以上



金沢大学ワンダーフォーゲル部

創部45周年記念総会・懇親会

*日時 平成15年9月13日(土)午後～14日(日)午前
(なお、翌15日は敬老の日。連休となっています)

*場所 石川県石川郡白峰村字白峰 白山まるごと体験村内
・緑の村 コテージ3棟
・白山国立公園センター2階 レクチャーホール
(JR金沢駅より 車1時間10分)

周辺は、見所、遊び所、湯所も含めた総合体験ゾーンです。13日午前また、14日午後もお楽しみ下さい。連休を利用して、家族サービス、同期会にリンクされることもご計画されて下さい。

*参加特別記念品

中村元風氏(20期OB)限定制作 白山柄白磁カップ
(前田家御用窯指定 日本工芸会正会員)

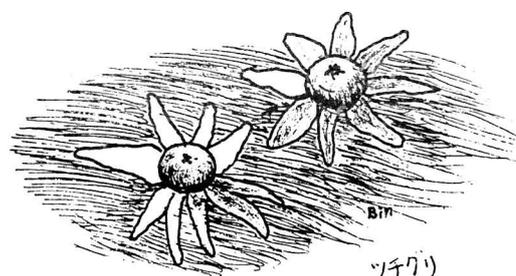
元風様からは「そういうことであれば、是非ご協力させていただきます」とのご快諾を得て、この夢のような特別参加記念品が実現しました。氏の作品は、大聖寺の九谷美術館また、大聖寺藩前田家菩提寺実性院でご覧頂けます。

この記念品価格を含めて当日参加費を決定しますが、他言出来ない原価で算定させて頂いています。ちなみに、参考写真のような普及柄でも、氏の直筆なら15,000円が市価。今回の限定品となってしまうと…(ワナワナ)

どうしても複数で欲しい方には、2個目からは市価よりやや易い程度で…ということですが、ご厚意に甘えるのも限度が…。2個目が出せるかは、参加者数次第です。

この記念品制作の都合もあり、5月頃には、参加希望をとり、参加費一部の振込みをもって参加予約とする心積もりでいます。

この後、年度替わりの異動を迎えられる方も多いと存じますが、くれぐれも9月13日～14日が空けられますよう、半年がかりでご画策下さい。



古九谷の技に現代の息吹を吹き込んで作陶を続ける加賀市の中村元風さんは、自ら開く「今九谷元風窯」が九谷焼の始祖である大聖寺藩前田家から御用窯に指定されたのを機に、十四日から同市の実性院で記念展を開催する。古九谷の先人が求めた深く、たおやかな

陶芸家 中村元風さん (加賀市)

白磁に鮮やかな色絵を描いた潤いのある作品や、現代的な用の美を追求した意欲作が展示される。

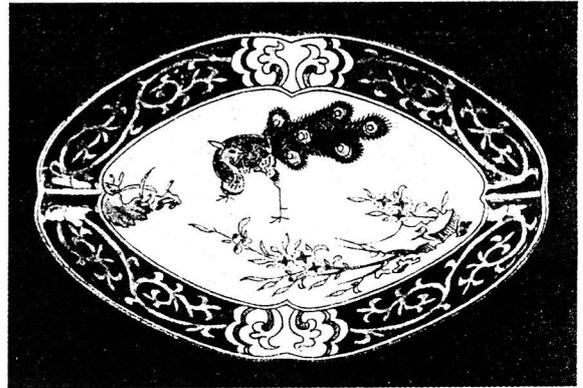
中村さんは、金沢大学で生物学を研究する中から陶芸に目を開かれ、祖父で日展参与だった中村恒恒さんから基礎を学んでこの道に入った異色の経歴を持つ。人間国宝の徳田八十吉



自作の出来栄を見る中村元風さん
■加賀市大聖寺の工房

「御用窯」の粹お披露目

14日から 実性院で記念展

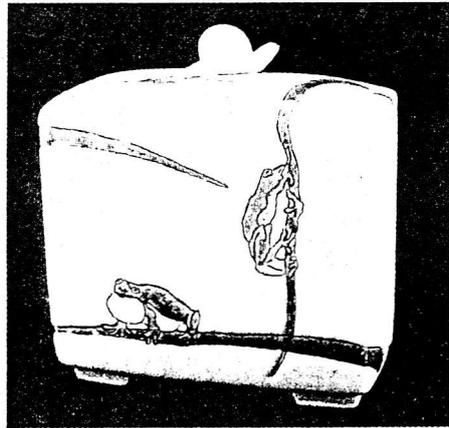


「木瓜形端血孔雀図」

付きを与えた。記念展は地元で二年ぶりに開くもので、中村さんが「ふくら手」と名付け、ふくらとした白い釉薬を色絵を包み込むように施した器や、古九谷の伝統を映した丹念に図柄を描いた端血などの小品が並ぶ。さらに、グリップに工夫を重ねて意匠登録されたカップなど現代の生活空間を視野に置いた逸品も彩りを添える。中村さんは「古九谷の真髄を自分なりに進化させ、世界に通じる作品を作りたい」と意欲を語った。同展は北國新聞社、テレビ金沢の後援で十六日まで。

世界に通じる「今九谷」を

さんの薫陶を受け、これまで日本伝統工芸展で入選を重ねて日本工芸会正会員となり、各地で精力的に個展活動を行っている。陶技を高める一方、古九谷の研究にも精力的に取り組み、九谷の先人が望んで到達し得なかった純白の生地をベースに鮮やかな色絵の美を追求した作品や、「用」に耐える構築性の高い器の創作をめざしてきた。中村さんに作品展の場を提供してきた実性院の石原良泉住職の推薦もあって、現在の十六代当主前田利弘



「ふくら手色絵窯変『雨上がり』香炉」

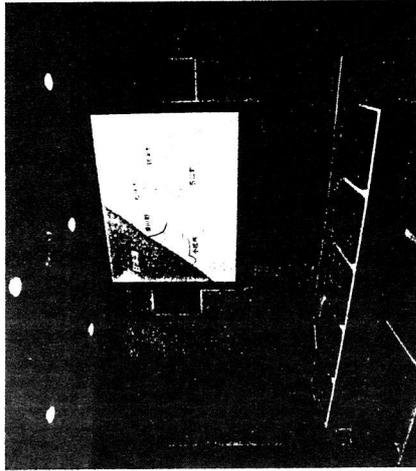
美術文化



同種のカップに、元風氏が1個1個「白山」を描いて下さいます。

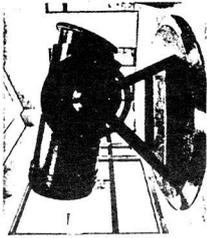
白山砂防科学館

砂防という観点から、白山の自然や地質、歴史、人々の暮らしを映像や展示を通して科学的に紹介します。白山観光や登山情報も見ることができます。



●砂防劇場

上流から土石流で流された巨大な百万岩岩を1/2スケールで作った岩の中で、その百万岩岩が流された昭和9年の災害の映像を見たり、白山の四季の音を聞くことができます。



●白山生い立ち解析スコープ
望遠鏡を覗くと、白山が今の姿になるまでの地質の変化などを映像で確認することができます。

- 入館無料
- 開館時間：午前9:00～午後5:00
- 休館日：海運本館日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）
- お問い合わせ：石川県石川郡白峰町字白峰40番地1
TEL 07619-8-2390 FAX 07619-8-2391

春

HAKUSAN SPRING

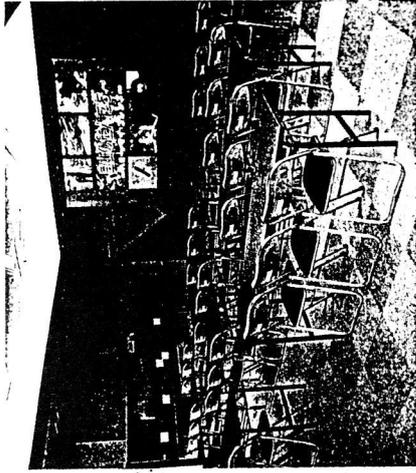
長い雪が終わり、雪どけとともに始まる春。雪が溶えるのを待ちかねていたように植物たちが芽を出し、花を咲かせます。白山の春は、緑が映えるさわやかな気分につつまれます。



●大黒山ニハシヤク

白山国立公園センター

白山の自然や文化の情報収集の場に、研修などの場にも使用できます。1階は、休憩場所としても解放しています。



●レクチャーホール

研修会、講演会などの場として利用しています。写真展なども開催しています。展望テラスからは白山のすばらしい眺望が楽しめます。



●図書コーナー・談話コーナー
図書やビデオ、パソコンなどで白山国立公園についての知識を深めることができます。

- 入館無料
- 開館時間：午前9:00～午後5:00
- 休館日：海運本館日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）
- お問い合わせ：石川県石川郡白峰町字白峰57乙
TEL・FAX 07619-8-2320

夏

HAKUSAN SUMMER

夏は、たくさん登山者たちが訪れる季節。木の香ただよふ自然の中、キャンプはまったりと、住む人なら、訪れた人たちがともに盛り上がりです。白山の夏は、ひとまわりホッとします。



●日の出展望

白山天望の湯

温泉と休憩室があります。白山の自然を眺めながら、おくつろぎいただけます。白山観光や下山後の疲れを癒すのに最適です。



●露天風呂

白山の雄大な自然を眺めながらのゆったり気分は、また格別です。



●休憩室
露天風呂入浴の後などおくつろぎいただけます。

- 入館料：大人（中学生以上）650円、子供（小学生）350円
幼児（9歳以上）250円
- 開館時間：平日／正午～午後9:00
土・日・祝／午前10:00～午後9:00
- 休館日：海運本館日（祝日の場合は翌日）
- お問い合わせ：石川県石川郡白峰町字白峰52
TEL 07619-8-2010

秋

HAKUSAN AUTUMN

秋は紅葉。白山の山肌は燃えるように真っ赤に色づき、人も動物も豊かな手りの恩恵を受けます。白山の秋は、紅葉に感動し、豊かな気分を満たされます。



●白山の紅葉

御前荘

白山観光や登山の際の宿泊施設としてご利用いただけます。また、温泉、お食事、日帰り宴会などの利用もできます。



●白峰温泉

源泉は白峰温泉1号井。全国で4ヶ所しかない軽重曹泉のひとつで、湯をばくし、慢性消化器疾患にも効果があり、湯上りは肌が絹のようになめらかになると評判です。



●四季折々の特別料理
山里、白峰は滋味あふれる天恵の宝庫。一年を通じて折々の山の幸、川の幸をお楽しみいただけます。

- 宿泊（1泊2食付）：平日9,300～12,300円、
休前日10,300～13,300円
- ※お盆・年末年始は特別料金となります
※その他ご予約もご利用しています。
- お問い合わせ：石川県石川郡白峰町字白峰 TEL 07619-8-2224 代
FAX 07619-8-2438 予約専用09120-461893

冬

HAKUSAN WINTER

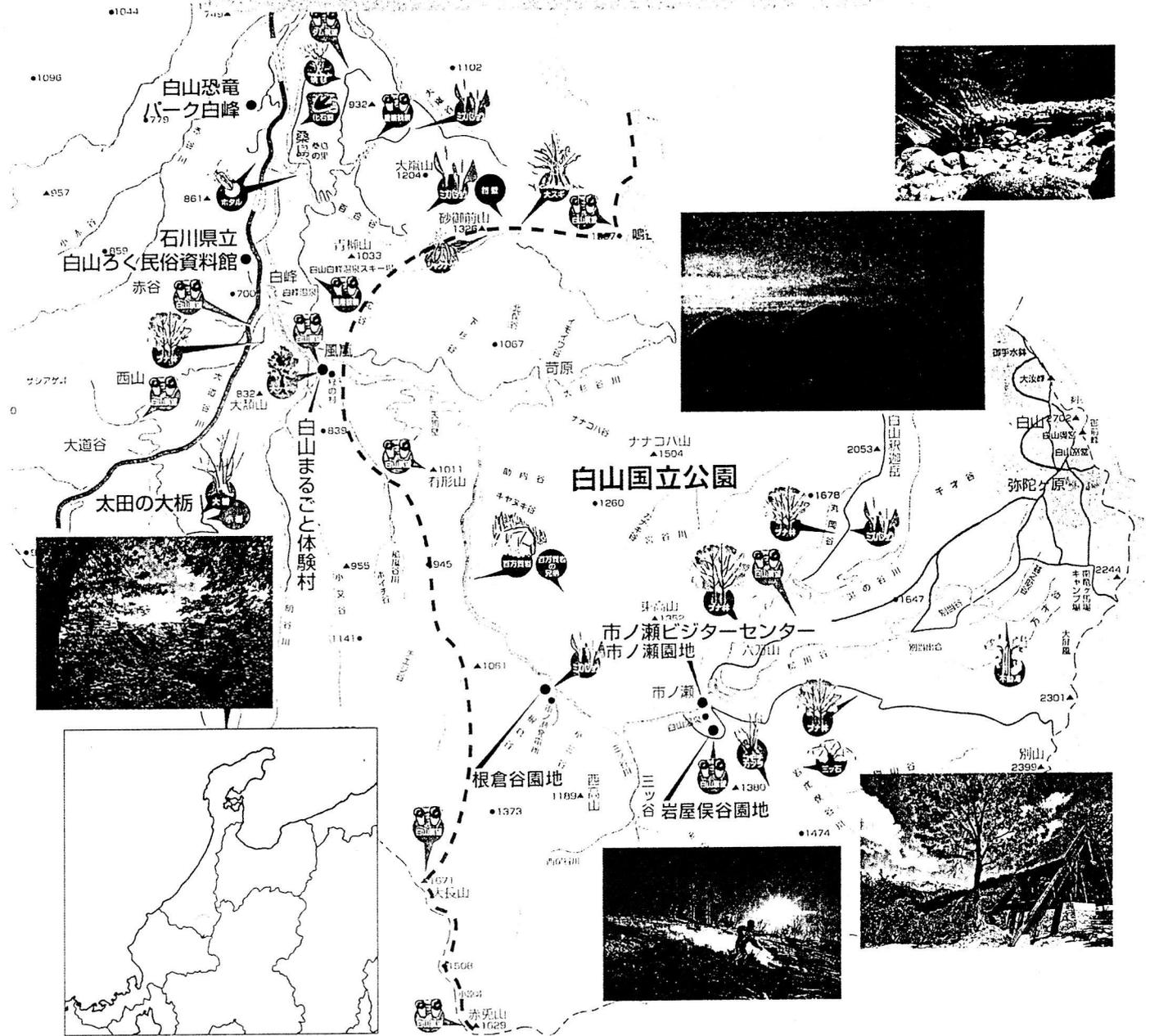
冬は、すべてが白く覆われ、一面の瑤台世界へと姿を変えます。その中、木びとが作った雪なるまが訪れる人々を迎えつけてくれます。白山の冬は、心温まるもてなしの心につつまれます。



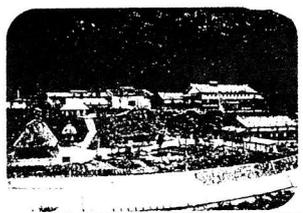
●雪だるままつり

足をのばせば、もっと楽しい。

別荘地が、自然

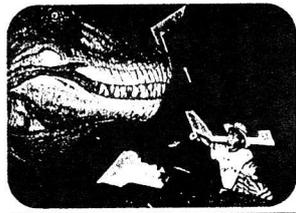


●太田の大栃



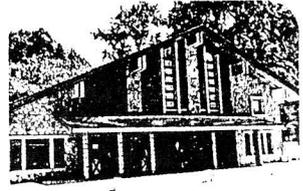
石川県立白山ろく民俗資料館

- 入館料：一般250円、65歳以上200円、団体(20名様以上)200円、高校生以下無料
- 開館時間：午前9:00～午後4:30 (入館は午後4時まで)
- 休館日：毎週木曜日・祝日の翌日・年末年始(12月29日～1月3日)



白山恐竜パーク白峰

- 入館料：(化石発見広場利用を含む全館) 大人(高校生以上)1,000円、小人(小・中学生)500円(化石発見広場を除く全館)大人(高校生以上)800円、小人(小・中学生)400円
- 開館時間：午前9:00～午後5:00 (入館は午後4時30分まで)
- 休館日：毎週木曜日(夏休は期間を除く)・祝日の翌日・冬期間



市ノ瀬ビジターセンター

- 入館料：無料
- 開館時間：午前8:45～午後5:00
- 開館日：5月1日～11月5日 (冬期閉館、積雪等で変わります)

創部45周年行事は、OBと現役の共催です。いわずもがなですが、

	《OB》	《現役》
記念行事 ……	体験者	知らない
名簿 ……	管理下	照合できない
経費 ……	年会費有り	負担義務?
参加可能性 ……	仕事優先	休暇中なら
可動組織 ……	ない	ある

のような事情があります。よって前例を知るOB会役員が大要を立案し、当日運営は現役が行い、OB会計補助とOB参加費用で経費を賄う…のように分担しています。

OB役員も勤務最優先であり、当日まで参加確定が言える立場ではありません。したがって運営の組織行動は現役でなければ、遂行できません。

そのため、日程は、「部員動員に都合のよい、夏期休暇終盤頃」として、設定しています。

また安価な野外・公共施設を、ベストシーズンに、参加者数不確定のまま押さえ込むことはできません。

白山に登り易い頃…他の要望については、個人レベルで実行されますよう、お願いします。

さて、運営面を引き受け、みなさんを歓待してくれる現役達…この頃の現役さん達は何やってる?どんな山登ってる?いやあ変わったねえ!昔と同じだねえ!

短い交流時間に、実のある対話がスタート出来ますよう、自己紹介を書いてもらいました。「今の現役」のデータ…ちょっとインプットされてご参加下さい。

項目

- ①ワンゲルに入った動機
- ②小屋作業感想
- ③夏合宿感想
- ④印象に残った山、行事、PW
- ⑤ワンゲルに入って良かったこと。
- ⑥ワンゲルで今後やってみたいこと
- ⑦他、ワンゲル関連なら何でも。

《1回生》

*加藤 文寛 法・法 愛知県

- ①ウリアゲというテレビ番組で、マッターホルン登頂部という企画を見て。
- ②行ってない。
- ③人生観が変わった。
- ④南アルプス
- ⑤体力作りに良い
- ⑥日帰り山行

*鈴木 宙 文・文 新潟県

- ③高校時代、大雪山で大雨に見舞われ散々な思いをしたため、二度と北海道には行くまいと思っていた私ですが、気がついたら「北海道もっ山山パーティ」に入っていました。今回こそはいい天気にも恵まれたいという思いを抱きながら、私はアパートを後にしました。

一日目、天気は良好。京都での森本さんご家族の送り迎えに感謝し、いい気分で船に乗り込む。天気がいいせいか船もあまり揺れずぐっすり眠ることが出来ました。

二日目、船上ラジオ体操に出席し、健やかな時を過ごす。一緒に西瓜を食べてくれた大

学グループに感謝し、ジャンケンポン。大会ではマスコット「ライラック君」に愛着を感じ、ジャンケンおじさんの「ジャンケンポイヤー」という掛け声には妙にジャンケンに対する熱意のようなものを感じ取ることが出来た。結局ジャンケン大会には優勝できず、ライラック君に抱きつくことが叶わなくて残念でした。その後のオセロ大会でも元理系の実力を発揮出来ず全敗。情けない限りでした。それから風呂に入って精神的疲れを癒し、就寝。

三日目、小樽港を出ると何やら雲行きが怪しい。不安を抱えながら出発。電車を乗り継ぎ美瑛駅まで向かうと奄、とあるおばあちゃんが、下車後、周りの景色を見て途方に暮れていた。どうやら降りる駅を間違えたらしい。痛々しくもあり、面白くもある光景であった。

美瑛駅に着くともう雨が降り始めている。気温わずか10度。北海道の厳寒を直に感じながら幕営地に向かうと地面が湿っている。明日は大丈夫なのだろうかという不安にかられながらも、テント生活を楽しんで寝る。

次の日、悪い予感的中し沈殿することに。その日は山本一成君直伝の「ウィンクキラー」等をして楽しんだが、一方で、明日もチンなんじゃないかという不安も募っていった。その日は白金温泉に行ったのですが、温泉につかった後、休憩部屋で運命的出会いをするのです。彼の名は「佐渡大地」君(おそらく5~6才)。彼はまた笑顔が可愛い子でして、あんな純粋な瞳を持つ子を見たのは初めてでした。私は彼のスキについてフーセンガムを奪ったのですが、結局バレてしまい、自分はなんてアホな大学生なんだろうと痛感していました。

次の日、天気は悪いながらも、ついに出発することになりました。初め、雨が降っていましたが十勝岳に着く頃には雨が上がりました。そこでついに森本リーダーがエールを切り、それが功を奏したのか、昼からは雨が降らず、穏やかな時間を過ごせました。

その後も各人のエール効果もあってか晴れる日も出てきて、たとえ雨が降ってもそれを楽しむぐらいの気持ちで、困難をくぐり抜けていきました。

急登も少なく登りやすい山でしたが、私は燃費が悪く行動食を食べてもすぐお腹がすいてしまう次第でありましたので、そこを今後克服したいです。

何はともあれ、大雪山は私が今まで登った山の中では一番思い出に残る山であります。これからも多くの山に登れるよう心がけていきたいと思います。

*中西 浩之 業・総合業 大阪府

- ①高校時代に山岳部をしていたこと。先輩に熱心に誘われたからです。
- ③北アルプスに行きましたが、途中下山することになってしまい、とても悔しかったです。来年こそは絶対に完全制覇したいです。
- ④剣岳
- ⑤いろいろな素晴らしい山に登れた。
- ⑥屋久島行きたいです。

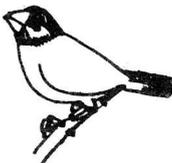


*西村 亮 文・文 滋賀県

- ①高校時代までは、ワングル・山岳部関連のグループには全く入ったことがなく、家族で山に登ったりする程度でしたが、本格的な登山をするためにワングル部に入部しました。
- ②夏合宿までの山行はほとんど悪天候に見舞われてしまい大変でしたが、その結果「踏鞴」の気概を養えたと思います。これからは金大ワングル部の一員として恥ずかしくないよう日々精進する次第です。

*林 祐次郎 業・総合業 石川県

- ①登山が好きだから
- ②小屋作業時、まだ入部していない為、なし。
- ③天気は少々悪かったですが、いい経験が出来、非常に楽しかったです。
- ④夏合宿
- ⑤今までにない長い合宿と山行が出来た事
- ⑥検討中



*久岡 雄介 法・法 京都府

- ①中学の先生の話聞いて興味を持ち、この部に入りました。
- ③夏合宿はすごく楽しく気持ちよかったです。印象に残った山は常念岳です。
- ⑤お酒で意識をなくすという事が経験出来、精神的に強くなったので、ワングルに入ってよかったです。
- ⑥もっと色々な山に登りたいです。

*三田村 直樹 理・計算 静岡県

- ①サイクリング。サイクリングが大好きなのでサイクリングを出来るサークルを探していた所、ワングルの部員募集の掲示にCyclingの文字を見つけたため。
- ②最高！高三郎が良かった。高三郎については④参照。あと、ナタでの伐採が面白かった。初めは上手く使えなかったが、一日中ナタを振り回しているうちに上手く使いこなせるようになった。ノコギリでも手間取りそうな太い枝を、ナタでアチョー！と叩き折るのが快感だった。
- ③日焼け！南アルプスを縦走したが、日焼け対策を怠っていたので、唇や目の横に水ぶくれが出来てしまった。太陽の凄さを知った。また、塩見岳からの景色は素晴らしかった。
- ④高三郎！ワングル部に入るまで登山をしたことがなかったので、小屋作業が僕にとって最初の登山だった。（トレーニングで卯辰山に登ったが、それは勘定外）。高三郎は道が単調でなく、登ること自体を楽しめたし、霧の中にそびえる大木が神秘的でカッコ良かった
- ⑤登山のスキルが身についた。アウトドア好きの仲間が出来た。シャカを知った。
- ⑥海外自転車PW
- ⑦僕は三田村です。自転車大好きな三田村直樹です。ヨロシク！

*八十嶋 仁 文・人間 福井県

- ①入部説明会に行った所、過去の山行の写真を見せられて、これは面白いかもと思ったのがきっかけです。

- ③他のメンバーにともかく迷惑をかけてしまったので、一刻も早く足手纏いから脱却したいと思いました。ただ、総じてとても楽しい山行でした。
- ④この前冬合宿で行った荒島岳でしょうか。いろいろと満喫させてもらいました。
- ⑤お酒にまつわるもの以外は大体良い思い出でしょう。

*山本 一成 業・総合業 新潟県

- ①高校時代、修学旅行がなく、その代わりに夏の全校登山（1年生だけ全員で、2、3年生は希望制）で3年間（といっても3回）登り、大学でも登りたいと思ったからです。
- ②一手ないので（入部前なので）わかりません。すいません。
- ③自分は全然駄目だと思った。山に登る前にしなければならない事がある事に気付いた。北海道は大きくて美しく楽しかった。
- ④全部です。
- ⑤他学部の友達が出来た事。上回生と付き合いがあること。山に登れていること。

*山本 容子 医・保健（看護） 滋賀県

- ①2人の姉達が山をやっている、写真を見たり、話を聞いているうちに登りたいと思うようになったから。
- ②雨で買ったての新品のカップが泥だらけになってショックでした。
- ③登る前に、こんなに長期間、山での生活が続けられるか不安でした。でも下山した時には楽しかったと感じました。晴れた日が多かったのが一番うれしかったです。
- ④夏合宿で行った塩見岳。ピークからの景色がすごくよかったです。
- ⑤いろんな人に出会えたこと。部室に行けばワングルの人に、山に行けば他の大学の人にも出会えること。

*渡辺 駿 工・土建 神奈川県

- ④印象に残った山は医王山で、理由はワングルで一番最初に登った山だからです。夏合宿前に怪我をしてしまい参加できなかったのも、今年こそ登りたいです。

《2回生》

池田 幸平 工・人機 石川県

- ①同学科の先輩方3人組に誘われて。
- ②1年次…草刈りをする事で道を作る事を知り、大変だったが、達成感があった。
2年次…1年次も小屋での食当は楽しく、普通の山行の時よりも良かったが、2年次は、ナカオ山岳会の方達と一緒に出来たので、それ以上だった。
- ③1年次…八峰キレットは恐かったが、良い経験になった。夜が明けた時の槍が印象的だった。（台風のため登ることが出来なかった）
2年次…完全制覇は出来なかったが、槍に2回登り、そこからの景色が良かった。
- ④・1年次の天狗の頭からの槍
・春合宿
・剣岳、道東

- ⑤山を通していろんな所に行けたこと。
- ⑥まだ行ったことのない山、場所に行きたい。

*伊藤 亜希子 理・地球 岐阜県

- ①何かアクティブなことをしてみたかったから
- ②1年生の時しか参加していないのですが、その時は、ともしんどかった事を思い出します。
- ③1年の時の北アルプスも、2年の時の北海道も、両方ともとても素晴らしい体験でした。とんでもなく苦しくて辛い時もあり、また、言葉の言い表わせない景色を見た時もあり、そのようなものをすべてひっくるめて、素晴らしい体験でした。
- ④槍ヶ岳と、屋久島PWと、1年の冬合宿です
- ⑤ちょっとだけ肝っ玉が大きくなったことです
- ⑥四万十川へ行くPWを出せたらいいな~と思います。

*岩田 奈穂子 工・物化 滋賀県

- ①それまでインドア派だったので、アウトドアをやってみたくて。
- ②信じられないくらい草が茂っていてもコツコツ作業をしていくと見違えるくらいきれいになったのが印象的でした。
- ③今までの夏合宿2回とも北アルプスでしたが、とても楽しかったです。終わった後の達成感が気持ち良かったです。
- ④1年の時の冬合宿、雪の結晶を初めて見ました。
- ⑤山に登れたこと。

*荻田 真憲 工・土建 石川県

- ①遠出するのが好きだから。
- ②家の裏の通り（小立野通り）をまっすぐ南へ進むと、最後は高三郎へと通じることに感動した。
- ③2回にわたって南アルプスの主な所へ全部行けたので良かった。

*加藤 夕佳 経・経 静岡県

- ⑤温暖な気候の場所から来たものですから、1年の時は、夏は湿気が多くて気持ち悪く、冬は雪か雨で晴れ間が見えないという金沢の気候に驚き、なんでこんな所へ来てしまったのだろうと嘆いたものです。しかし今では多少の気候の悪さには我慢強くなったように思います。

私は青い空の有り難さというのを知りました。青い空を見るだけで気分が爽快になります。山では特にそうですね。樹林限界を越えたら感じる乾燥した空気と風、強い日差し、下界とは違う色をした深く青い空。こんな山の雰囲気忘れられず、山に行きたくなります。

どうして山に登るのか、危険と一般的に言われる場所に行くのか、旅に出るのか…、私の尊敬する石川直樹さんはこう答えています「楽しいからに決まってるからじゃないか。自分が今いる場所から足を一步踏み出し、ここではないどこかへ旅することに楽しさを見出せない人は、僕からすれば相当好奇心を欠いている。リスクを負うことを恐れていたら

、人は何も出来ないし、興味の幅を広げる事は到底不可能ではないか。」

山と旅、というのはすごくリンクしていると思います。私は山と同様、旅も好きですがワンゲルに入っていなければ回数を重ねて海外に出掛けることはなかったのではないかと思います。どこでも便利な装備を以ていることに加え、とりあえず何とかなるだろう、山より危険じゃないし、といった変な度胸がついてしまったように思います。一步間違えれば恐ろしいですが、今の所大丈夫です。三月にはチベットへ行こうと考えていますが、何より空が楽しみです。

*敵田 聡子 業・製業 愛知県

- ①なんとなく山に登りたかったから。
- ②OBの方や、ナカオ山岳回の方々など、いろいろな人と交流がもてて、いろんな話が聞けて良かったです。
- ③1回生の時は北海道で、2回生の時は北アルプスでした。北海道と比べて北アルプスは道も整備されているし、小屋もたくさんあるし、トイレも完備されているし、売店もあるしで、何て登りやすいんだと感激しました。
- ④白山

*松本 瑞恵 経・経 石川県

- ①運動不足解消&一生の趣味を身に付けるため
- ②バーベキューがおいしくて感動しました。
- ③山の厳しさ、楽しさを知りました。
- ④水周りの遊びをしてみたいです。（カヌー、沢登りなど）
- ⑤登山中、登山家の方々と交流が興味深かったりします。

《3回生》

*松山 文枝 医・保健（作業） 神奈川県

- ①入学前から登山をしたいと思っていた。ワンゲルは縦走も出来るということで決めた。登山をしたかったことは金沢へ来たかった理由の一つにも入る。
- ④2002年5月の後立山PW（爺ヶ岳、鹿島槍ヶ岳）。同期部員3人、先輩1人、前田先生の6人パーティで、メンバーと初めて仲良くなったり、春の雷鳥が見られたり楽しかった。

晴れた日の稜線や山頂からの景色はサイコー！こういう時はいつも登って良かったと思える。

- ⑤山の仲間が出来たこと。

*深作 亮太 工・人機 茨城県

- ④何といっても、どう学年4人と先輩1人、そして前田顧問と行った後立山連邦でしょう。下山するまであんなに歩いた山行は初めてでした。下山後、財布を忘れてくるという、自分にとってハブニング多き山行だったと記憶しています。